

【7月の休館日】
1日(金) 5日(火) 12日(火)
19日(火) 26日(火)
※感染症の拡大防止のため、開館
内容の変更およびイベントを中
止する場合があります。

福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-17:30 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



ふくちのちイベント

- ◆ 子どもの折り紙教室
7/3(日) 11:00-11:30
1階 ものづくりラボ前
※定員先着6組、10時から受付開始
- ◆ 上映会 大人向け
「夏、至るころ」
7/9(土) 14:30-16:20
7/16(土) 14:30-16:20
2階 多目的室(各日ともに)
※お一人様1日のみ申込可能・各日先着9名
- ◆ スタッフのおはなし会
7/10(日) 11:00-11:30
7/17(日) 11:00-11:30
7/24(日) 11:00-11:30

- ◆ 上映会 子ども向け
「ふしぎ駄菓子屋銭天堂1巻」
7/23(土) 14:30-15:20
2階 多目的室 ※定員先着9名

- ◆ 特別上映会 子ども向け
「恐竜超伝説 劇場版ダーウィンが来た！」
7/30(土) 14:30-16:05
2階 多目的室 ※定員先着9名

館内は必ずマスク着用のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

新着本



僕らのニッポン小旅行案内。
(マガジンハウス)

独学力
ベロスルドヴァ オリガノ(ポプラ社)

プロが教える
親子キャンプ読本
長谷部雅一/著(メイジユニバーサルコンテンツ)

植物との暮らし方超入門
ビリ/著(山と溪谷社)

のぞいてごらん
おとぎのせかい
青山邦彦/作(フレーベル館)

うろおぼえ一家の
パーティー
出口かずみ/作(理論社)

ふしぎ駄菓子屋銭天堂17
廣嶋玲子/作(偕成社)

むしのずかん
雨宮尚子/作(白泉社)

展示会開催 展示「平和を考える」と「人権作品展」

- 「平和を考える-阿利莫二と著書『ルソン戦-死の谷』」
日にち▶ 7月2日(土) ~ 8月31日(水)
場所▶ 1階カウンター横
- 児童・生徒の人権作品展
日にち▶ 7月2日(土) ~ 7月31日(日)
場所▶ 1階ワクワクワ広場

ものづくりが好きな方へ！ おしゃれに飾る「キーホルダーづくり」

- レーザーカッターで切った形(ハート、車、花、魚など)に、好きなアルファベットを貼ってキーホルダーを作ります。
- 時間▶ ① 13時30分 ~ ② 14時30分 ~ ③ 15時30分 ~
- 日にち▶ 7月3日(日) 7月10日(日) 7月17日(日) 7月24日(日) 7月31日(日)
- ※各回2組限定(事前申込)
(小学2年生以下は保護者同伴)
場所▶ 1階 ものづくりラボ
参加費▶ 100円(1個作製分) 1組5個まで

第5弾 読書マラソン大会! 夏のよりみち。「読書マラソン大会」

期間内に設定の冊数を借りて返却をされた方に景品をプレゼント!(先着順)
期間▶ 7月9日(土) ~ 8月31日(水)

翌月のイベントを少しだけ紹介! 来月のふくちのちは…!?

● 大人向け上映会「少年寅次郎スペシャル」と子ども向け上映会「おしりたんてい13」を予定。どうぞお楽しみに!

※内容は変更になる場合もあります。詳しくはお問い合わせください。

福智の風

▶ とある日の撮影、曇り空の下で行った時、腕が真っ赤っかにやけどしました。曇り空でも紫外線は届くそうで、油断していました。また、曇り空でも熱中症には注意が必要です。湿度が高いと、汗が蒸発しにくいので、蒸し暑い曇りの日こそ対策が必要になります。夏をエンジョイするためにも予防はしっかりと行いましょう。(世良)

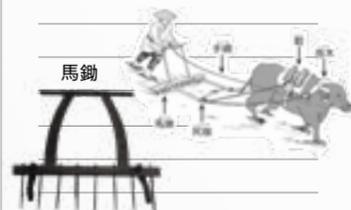
▶ 広報紙作成で悩むのが、情報の「正確さ」と「伝わりやすい表現」の塩梅です。正確さを追求すれば分りにくく、砕け過ぎると不正確に。自分も今は広報ですが行政職、正確に伝えたい気持ちは重々承知。智に働けば角が立つ、情に棹させば流される、とかく広報は作りにくい!草枕の冒頭が身に染み入る今日この頃です。(持丸)

ばあつた 福智町の魅力を紹介します!

DATE: Jul.2022
NO: 047

● 昔の農機具シリーズ①

代掻きを使う馬鍬



今ではトラクターが田や畑を動き回る風景が普通ですが、昔は家畜である牛や馬を使って田植えの準備を行っていました。馬鍬は代掻きに使われた道具で牛や馬にひかせて使用しました。※代掻きとは、田植えのために、田に水を入れて土を砕いてかきならす作業のことです。

落の臺句会
白光の走りて速し上り結 大井 良治
花あけび手には届かぬ濃むらさき 落合 東太
注ぐ湯の一葉ひとはの玉の露 木村 誠一
紫陽花や滝見返れば君が笑み 藤井耿之介
花垣のさつき明りや迷い人 宮崎富美子
たぐり寄す鰻の釣にある重さ 山本ひろし
竹の秋風の棲みつき葉を散らす 高津 澄子

はな俳句会
葉桜や背なになじみしランドセル 馬郡 京子
鳥の声遠くより聞き草むしる 藤本 鈴子
ランドセル笑顔輝く新入生 山本ヨシ子
空見上げ洗車ためらふ走り梅雨 豊田 保
遠き日々親子で入りし菖蒲の湯 山田 花子

鬼杉赤池俳句教室
裸子の肋元気に遊びけり 西田 真美
ブルドーザー工事現場の音暑し 松岡 萬枝
すれ違ふ山のあいさつ声涼し 二宮 正人
飛沫浴び馬鹿も利口も川渡祭 岩井 童子
神目指し背上げて富士登山 桂 啓子
山なみは空にをさまり花りんご 小野 美幸
新緑や薄茶の香る野点席 清原サヨ子
浴衣縫ふ老女の指の太き鍬 倉石嘉代子
辻馬車の蹄のリズム旅涼し 選者 吟
方城句会
賀茂山に籠もれる朝やほど、ぎす 藤井耿之介
遺影よりこぼる、笑や風薫る 婆ニヤン
金辺川やギョギョギョギョと夏は来ぬ 白石 想史
紫陽花の花苑に漕ぎ出しかたつわり 檜 幽可